

平成22年6月期 第1四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 カワニシホールディングス
 コード番号 2689 URL <http://www.kawanishi-md.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 野瀬 洋輔
 (氏名) 高井 平

TEL 086-245-1112

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年6月期第1四半期の連結業績(平成21年7月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第1四半期	13,371	3.7	△15	—	△23	—	△24	—
21年6月期第1四半期	12,893	—	△40	—	△85	—	△73	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年6月期第1四半期	△4.44	—
21年6月期第1四半期	△13.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年6月期第1四半期	18,967	1,530	8.1	272.72
21年6月期	18,494	1,600	8.7	285.23

(参考) 自己資本 22年6月期第1四半期 1,530百万円 21年6月期 1,600百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年6月期	—	—	—	10.00	10.00
22年6月期	—	—	—	—	—
22年6月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年6月期の連結業績予想(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期	28,145	5.6	160	144.7	139	1,609.9	58	—	10.49
連結累計期間	57,838	5.2	453	40.4	410	64.0	186	—	33.27

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ(定性的情報・財務諸表等)4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)詳細は5ページ(定性的情報・財務諸表等)4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年6月期第1四半期 6,250,000株 21年6月期 6,250,000株

② 期末自己株式数 22年6月期第1四半期 638,980株 21年6月期 638,980株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年6月期第1四半期 5,611,020株 21年6月期第1四半期 5,611,020株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、4ページ(定性的情報・財務諸表等)3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

〈医療器材事業〉

手術関連消耗品は、低侵襲手術関連商品や感染防止機能付商品などの販売が伸び、岡山・広島両県の大規模病院における販売が好調に推移しました。そのため、引き続き高い成長を維持しており、売上高は前年同期比107.6%となりました。

整形外科関連消耗品は、大阪での新規顧客獲得や広島・香川でシェアアップが進み、前年同期比104.4%の売上高となりました。

循環器関連消耗品は、一部地域で販売単価下落の影響があったものの、不整脈関連商品の販売が引き続き堅調であったことに加え、薬剤溶出ステント（DES）の新商品発売や、ステント付人工血管の増加などがあり、売上高は前年同期比101.1%となりました。

その他、眼科関連商品において、手術棟増築により備品の販売が増加したほか、手術器材のディスポ化に伴う消耗品の増加などがあり、売上高114億17百万円（前年同期比 3.9%増）、営業利益7百万円（前年同期比 34.5%減）となりました。

〈ライフサイエンス事業〉

試薬・診断薬の販売単価下落により、既存顧客への売上が伸び悩みましたが、昨年11月に開設した広島営業所において顧客開発が順調に進みました。一方利益面では、粗利益率の低下に加え広島出店に伴い経費が増加しました。

その結果、売上高8億90百万円（前年同期比 6.3%増）、営業損失23百万円（前年同期 営業損失17百万円）となりました。

〈SPD事業〉

前期第2四半期以降に運用の始まった3施設（内2施設は、提携先が受託）での売上及び提携先への業務支援等による収入により、売上高及び売上総利益は増加しました。

その結果、売上高15億59百万円（前年同期比 5.5%増）、営業利益18百万円（前年同期 営業利益70千円）となりました。

〈その他事業〉

在宅ベッドの新規レンタル契約が順調に増加し、売上高1億43百万円（前年同期比 4.0%増）、営業利益11百万円（前年同期比 1.4%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期の連結売上高は133億71百万円（前年同期比 3.7%増）、連結経常損失は23百万円（前年同期 経常損失85百万円）、連結四半期純損失は24百万円（前年同期 四半期純損失73百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は189億67百万円となり、前連結会計年度末と比べ4億73百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金が2億41百万円、商品が3億34百万円、投資その他の資産が1億75百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が3億26百万円減少したことによるものです。

また、負債は174億37百万円となり、前連結会計年度末と比べ5億43百万円の増加となりました。主な要因は、短期借入金が11億75百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が3億34百万円、未払法人税等が1億24百万円、長期借入金が71百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は15億30百万円となり、前連結会計年度末と比べ、70百万円減少いたしました。主な要因は、四半期純損失により24百万円、配当金により56百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、0.6ポイント減少し、8.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は前連結会計年度末に比べ2億39百万円増加し、26億48百万円となりました。主な増減要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は、6億1百万円となりました。

主な要因は、売上債権の減少により3億26百万円増加した一方で、たな卸資産の増加により3億34百万円、仕入債務の減少により3億34百万円、法人税等の支払により1億34百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、2億4百万円となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得により38百万円、関係会社株式の取得により1億60百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、10億46百万円となりました。

主な要因は、短期借入金が12億円増加した一方で、長期借入金が96百万円、配当金の支払により51百万円それぞれ減少したことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

おおむね計画通りに推移しており、平成21年8月12日に公表した業績予想に変更はありません。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき、作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行なう方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、及び、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,768,939	2,527,598
受取手形及び売掛金	9,149,673	9,476,369
商品	3,033,106	2,698,800
その他	562,545	553,490
流動資産合計	15,514,264	15,256,259
固定資産		
有形固定資産	2,231,775	2,178,714
無形固定資産		
のれん	228,448	236,909
その他	149,562	154,356
無形固定資産合計	378,010	391,265
投資その他の資産	843,799	668,311
固定資産合計	3,453,585	3,238,290
資産合計	18,967,850	18,494,549
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,444,977	12,779,465
短期借入金	3,510,000	2,335,000
未払法人税等	11,825	136,182
その他	570,038	695,381
流動負債合計	16,536,841	15,946,030
固定負債		
長期借入金	238,750	310,000
退職給付引当金	102,367	99,453
役員退職慰労引当金	482,814	470,496
その他	76,844	68,153
固定負債合計	900,775	948,103
負債合計	17,437,617	16,894,133

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	607,750	607,750
資本剰余金	343,750	343,750
利益剰余金	1,363,472	1,444,493
自己株式	△833,984	△833,984
株主資本合計	1,480,987	1,562,008
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	49,244	38,407
評価・換算差額等合計	49,244	38,407
純資産合計	1,530,232	1,600,416
負債純資産合計	18,967,850	18,494,549

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	12,893,875	13,371,610
売上原価	11,487,135	11,965,199
売上総利益	1,406,739	1,406,411
販売費及び一般管理費	1,447,737	1,421,840
営業損失(△)	△40,998	△15,428
営業外収益		
受取利息	1,124	524
受取配当金	924	453
受取手数料	—	1,199
持分法による投資利益	252	282
その他	2,261	2,628
営業外収益合計	4,562	5,087
営業外費用		
支払利息	17,240	12,417
保険解約損	31,871	—
その他	0	486
営業外費用合計	49,112	12,904
経常損失(△)	△85,548	△23,245
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,360
特別利益合計	—	1,360
特別損失		
有形固定資産除却損	4,824	930
特別損失合計	4,824	930
税金等調整前四半期純損失(△)	△90,373	△22,814
法人税、住民税及び事業税	9,336	15,545
法人税等調整額	△26,460	△13,449
法人税等合計	△17,124	2,096
四半期純損失(△)	△73,249	△24,911

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△90,373	△22,814
減価償却費	45,808	53,508
のれん償却額	20,612	8,461
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,270	△408
受取利息及び受取配当金	△2,049	△977
支払利息	17,240	12,417
持分法による投資損益(△は益)	△252	△282
有形固定資産除却損	4,824	930
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,360
売上債権の増減額(△は増加)	△26,177	326,696
たな卸資産の増減額(△は増加)	△281,506	△334,306
仕入債務の増減額(△は減少)	△355,199	△334,487
その他	90,255	△164,561
小計	△579,086	△457,185
利息及び配当金の受取額	1,973	921
利息の支払額	△16,388	△11,025
法人税等の支払額	△190,338	△134,103
法人税等の還付額	312	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△783,527	△601,392
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△22,823	△38,028
無形固定資産の取得による支出	△11,128	△8,564
投資有価証券の取得による支出	△803	△902
投資有価証券の売却による収入	15,653	4,475
関係会社株式の取得による支出	—	△160,600
その他	269	△1,210
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,832	△204,831
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	13,510,000	13,850,000
短期借入金の返済による支出	△12,450,000	△12,650,000
長期借入金の返済による支出	△96,250	△96,250
配当金の支払額	△49,407	△51,157
その他	—	△6,467
財務活動によるキャッシュ・フロー	914,342	1,046,125
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	111,983	239,900
現金及び現金同等物の期首残高	2,183,645	2,408,366
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,295,628	2,648,267

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	医療器材 事業 (千円)	ライフサイ エンス事業 (千円)	S P D事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	10,470,270	835,791	1,449,617	138,196	12,893,875	—	12,893,875
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	521,205	1,306	28,053	41	550,607	(550,607)	—
計	10,991,475	837,097	1,477,670	138,237	13,444,482	(550,607)	12,893,875
営業利益 又は営業損失(△)	11,355	△17,746	70	12,016	5,695	(46,694)	△40,998

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な内容

- (1) 医療器材事業……………医療器材販売
- (2) ライフサイエンス事業…試薬・検査薬及び理化学・分析機器の販売
- (3) S P D事業……………物品・情報管理及び購買管理業務
- (4) その他事業……………在宅介護用ベッド・用品の販売・レンタル

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	医療器材 事業 (千円)	ライフサイ エンス事業 (千円)	S P D事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	10,846,429	852,944	1,528,437	143,799	13,371,610	—	13,371,610
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	570,858	37,087	30,750	—	638,695	(638,695)	—
計	11,417,288	890,031	1,559,188	143,799	14,010,306	(638,695)	13,371,610
営業利益 又は営業損失(△)	7,434	△23,572	18,174	11,854	13,891	(29,320)	△15,428

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な内容

- (1) 医療器材事業……………医療器材販売
- (2) ライフサイエンス事業…試薬・検査薬及び理化学・分析機器の販売
- (3) S P D事業……………物品・情報管理及び購買管理業務
- (4) その他事業……………在宅介護用ベッド・用品の販売・レンタル

(所在地別セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

(海外売上高)

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。